

◎東俊昭企画振興部長

再質問にお答えをいたします。

確かに議員御指摘のとおり、当初、令和3年度ということで準備を進めておりました。そんな中で、一つにはコロナ禍ということで、なかなか説明の機会が持てなかったという状況が大きく影響したということがございます。また、そういった地区ごとの合意形成にも、想定以上に時間がかかったという現状もあると思っております。ただ、そんな中で、令和6年度からの一斉スタートを目指すということで進めていることは、市長からも答弁がありましたとおり、間違いのないことであります。確かに時間がない中で、いかにして浸透を図っていくのかということは、非常に大きな問題であると思っております。

その中で、やはり何と言いましても、丁寧な説明をしながらやっていくということ、その機会をより充実させるということは当然でありますけれども、様々な方法を検討いたしまして、より浸透が図られるように努めていかなければならないと思っております。

条例につきましても、例えば生涯学習の機能を引き続きコミュニティセンターが担うということでもありますけれども、現在、教育委員会の所管であります生涯学習課が分担する業務の中で、どの部門を市長部局に移管するのか、あるいは教育委員会に引き続き継続して、教育委員会が担当するほうがより市民にとってやりやすいといえますか、今後よりよい行政につながるというようなことも含めて、今、市の内部で協議をしているところであります。

なかなか後手後手に回って、市民の皆さん、特に公民館の皆さんに情報をお伝えすることが非常に遅れているということは間違いございませんけれども、速やかに調整を図りまして、令和6年度からの一斉スタート、全28地区一斉スタートに向けて進めてまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。